

●自然数 n, m に対して,

$$m < S(n) \iff m \leq n$$

が成り立つことを示せ.

(解答例) (\implies) $m < S(n)$ とする. このとき, $m \leq S(n)$ かつ $m \neq S(n)$ が成り立つ. $m \leq S(n)$ より, ある $k \in \mathbb{N}$ が取れて, $\Phi_k(m) = S(n)$ となる. $k = 0$ のときには, $m = \Phi_0(m) = S(n)$ となり, $m \neq S(n)$ に反する. したがって, $k \neq 0$ である. $\mathbb{N} = \{0\} \cup S(\mathbb{N})$ より $k \in S(\mathbb{N})$ であるから, $k = S(\ell)$ をみたす $\ell \in \mathbb{N}$ がとれる. S が単射であり,

$$S(n) = \Phi_k(m) \stackrel{\text{加法の交換法則}}{=} \Phi_m(k) = \Phi_m(S(\ell)) \stackrel{\text{加法の定義 (ii)}}{=} S(\Phi_m(\ell)) \stackrel{\text{加法の交換法則}}{=} S(\Phi_\ell(m))$$

が成り立つので, $n = \Phi_\ell(m)$ が得られる. $\ell \in \mathbb{N}$ より, $m \leq n$ である.

(\impliedby) $m \leq n$ とする. このとき, ある $k \in \mathbb{N}$ が取れて, $\Phi_k(m) = n$ となる. $S(k) \neq 0$ と

$$S(n) = S(\Phi_k(m)) \stackrel{\text{加法の交換法則}}{=} S(\Phi_m(k)) \stackrel{\text{加法の定義 (ii)}}{=} \Phi_m(S(k)) \stackrel{\text{加法の交換法則}}{=} \Phi_{S(k)}(m)$$

より, $m \leq S(n)$ かつ $m \neq S(n)$ が成り立つ. したがって, $m < S(n)$ が得られる.